

高洲中で職業観育成事業を実施しました

10月13日(水)に高洲中学校で職業観育成事業を実施しました。

今回はスポーツ用品およびこれらに関するものの製造と販売を行っている(株)デザートをお招きし、高洲中学の2年生が新しい体操服を考えて企画担当の方にプレゼンテーションしました。



9月に事前学習として、スポーツウェアのデザインや機能性について学んだり、分析シートを使って今の体操服を分析したり、新しい体操服をデザインしたりするなど、スポーツウェアの新商品ができるまでについて学びました。

発表ではそれぞれのクラスで考えた体操服をデザントの商品企画担当である弘中さんにプレゼンし、弘中さんから講評をいただきました。

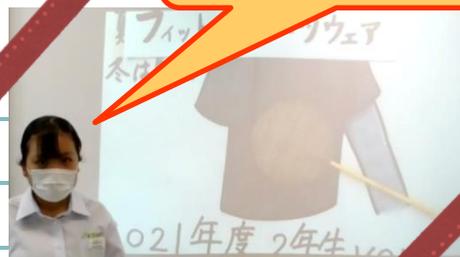
胸元にボタンをつけることで暑さにも対応する工夫をしました!



ボタンをつけるという発想はとてもいいと思います!

体操服を黒くすることで、日焼けを軽減する体操服をしました!

黒い生地だと暑くなってしまいます。だからと言って、生地を薄くすると光を通しやすくなるので日焼けしやすくなります。なので、日の光をカットする加工をするといいかもかもしれません。



最後に弘中さんからスポーツウェア業界での仕事のやりがいをお話いただきました。



デザートでは、野球の大谷翔平選手がストレスに感じてきた“球を投げる際の肩の引っ掛かり”を解消するため「Dスリットカット」の入った野球用アンダーシャツを開発しました。このようにスポーツ選手を陰ながら支えることができるところに仕事のやりがいを感じます。今日みなさんにいただいたアイデアを参考に今後もストレスの少ない服を作っていきたいと思います。

職業観育成事業とは、子どもたちが多様な大人と出会い、多様な職業観を身につけられるようなキャリア教育の実践として、静岡大学によるICTを活用した「子どもと専門家」をつなぐ遠隔授業を市内小中学校で実施しています。今年度は藤枝小、青島中など6つの小中で実施予定です。

